

## 第3次緑の森づくり新生プランの進捗状況（令和6年度）

### ◆ 重点的な取組事例

#### 1 森林の整備

(1) 森林整備に係る事業量

〔目標〕 事業量を「森林整備面積」で500ha、「作業路等」で25,000mとする。

〔実績〕 事業量を「森林整備面積」で428ha実施し、「作業路等」で30,601mの作設を行った。

〔評価〕 作業路等の整備を重点的に行った結果、森林整備面積は目標の86%、作業路等については目標の122%となった。

（単位：ha、m）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
森林整備面積 (ha)	計 画	1年間に間伐等の森林 施業を実施する面積		500	500	500	500	500
	実 績		430	428				
	達 成 率			86%				
作業路等 (m)	計 画	1年間に整備する作業 路等の延長		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	実 績		19,918	30,601				
	達 成 率			122%	0%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～4年度の4か年平均値。

※森林整備に係る事業費（参考数値）

（単位：千円）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
森林整備事業費	計 画	1年間に間伐等の森林 施業の実施に係る事業 費		413,000	413,000	413,000	413,000	413,000
	実 績		341,379	365,681				
	達 成 率			89%	0%	0%	0%	

※ 作業路等の整備に要する事業費を含む。

#### 2 木材の生産と収入確保に係る重点的な取組

(1) 積極的に間伐材を搬出し、さらなる販売収入を確保

〔目標〕 間伐材の販売収入を68,000千円確保する。

〔実績〕 搬出を伴う間伐を253.71ha実施し、60,423千円の販売収入を確保できた。

〔評価〕 間伐材販売収入については、低質材の搬出が多かったため目標額の89%にとどまった。

（単位：千円）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
収入見込額	計 画	木材販売収入額		68,000	68,000	68,000	68,000	68,000
	実 績		51,891	60,423				
	達 成 率			89%	0%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～4年度の4か年平均値で、公社実施分のみ。

#### 3 財務状況の改善に関する重点的取組

(1) 管理経費単年度所要額の節減

〔目標〕 現況値を維持し、5,500千円以内の支出にとどめる。

〔実績〕 物件費所要額が6,117千円を要した。

〔評価〕 計画目標は達成できなかったが、J-クレジット制度導入に当たり必要となった土地所有者への説明と不同意がないことの確認のための全契約者への通知施行に伴う経費（687千円）を除くと実績額は5,430千円となり、経費節減は実行できた。

（単位：千円）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
物件費所要額	計 画	物件費（旅費交通費、 需用費、通信運搬費、 会議費及び什器備品費 の合計額）		5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
	実 績		5,568	6,117				
	達 成 率			111%	0%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～4年度の4か年平均値。

分収林契約適正化事業に要する経費を除く。

#### 4 分収割合の契約変更

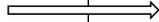
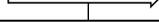
県、社員市町村等からの支援を受けながら、引き続き分収割合の契約変更を推進する。

[目標] 分収割合について20件の変更契約の締結を行う。

[実績] 262件の変更協議を行い分収割合の変更に取り組んだが契約の締結は6件にとどまった。

[評価] 計画目標を未達成。

(単位：件)

区 分		取組内容	契約件数 (R7.3末)	現況値	R7.3末 変更件数	R7~R9	R10目標値
計 画	市町村有林	土地所有者の協力を得て分収割合の契約変更を推進する。	50	50	50	達成	50
	個人・共有林等		2,907	2,022	2,042		2,124
	計		2,957	2,072	2,092		2,174
実 績	計		2,085				
達 成 率	%		71%		99.7%		

※現況値は、令和5年3月末までの契約変更実績件数。

地位級・地利級による施業団地区分の評価が高いもののうち、交渉可能な契約99件を対象とする。

【参考】

(単位：件)

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
分収割合変更 契約件数	計 画	土地所有者の協力を得て分収割合の契約変更を推進する。		20	20	20	20	19
	実 績		2,072 (累計)	6				
	達 成 率			30%	0%	0%	0%	

※現況値は、令和5年3月末までの契約変更実績件数。

[契約締結に至らない要因等]

- ・交渉は重ねているが、分収割合を変更しなければならないことの必要性が契約相手方に理解されない。
- ・共有地等で権利者が複数存在し意見がまとまらない。
- ・分収割合の変更と契約期間の延長を一体的に進め、長伐期は施業複層林化により、所有者が主伐後に植栽が不要になる等のメリットを併せて説明するなどして同意取り付けを図る必要がある。

#### 5 政策金融公庫借入金の繰上償還

利子負担の軽減のため、経営改善積立資産の活用により政策金融公庫借入金の繰上償還を行う。

[目標] 30,000千円の公庫資金繰上償還に取り組む。

[実績] 2契約地について、15,716千円の繰上償還を実施した。

[評価] 計画目標を未達成。なお、主伐売払いに伴う繰上償還(79,755千円)を含めると、95,471千円(目標額の318%)となる。

(単位：千円)

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
公庫資金 繰上償還額	計 画	政策金融公庫借入金の繰上償還を行う。		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実 績		7,205	15,716				
	達 成 率			52%	0%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～4年度の4か年平均値。